

2017年8月30日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 中里 佳明
(コード番号 5713 東証第1部)
問合せ先 広報IR部 オリッシュ アマンダ
(TEL. 03-3436-7705)

ポゴ金鉱山の金ヘッジ追加実施について

住友金属鉱山株式会社(本社:東京都港区 社長:中里 佳明)は、2009年からポゴ金鉱山(米国アラスカ州)の当社生産金の販売価格をヘッジ取引により確保することを目的として、長期的なヘッジを実施してまいりましたが、さらに引き続きつぎのとおりヘッジを実施いたしましたのでお知らせします。

(ヘッジの内容)

- ・2019年1月から2019年12月までのポゴ金鉱山生産予定金量のうち、当社権益分85%の4分の1について、ミニマックス(注1)によるヘッジを実行しました。下限価格は\$1,200/トロイオンス、上限価格は\$1,450/トロイオンスとなっています。

(注1) ミニ・マックスによるヘッジ

当社が一定金量を、\$1,200/トロイオンスでトレーダーに売れる権利(プット・オプション)を買い、当社からトレーダーが一定金量を\$1,450/トロイオンスで買える権利(コール・オプション)を売ることにより、コストなしで\$1,200/トロイオンス～\$1,450/トロイオンスの幅で対象金量の実効販売価格を固定する取引。

本ヘッジ取引により、ポゴ金鉱山の2019年1月から2019年12月生産予定金量のうち当社権益持分の85%の4分の1の販売価格は、金のスポット価格が\$1,200/トロイオンス以下の場合には\$1,200/トロイオンスが確保され、スポット価格が\$1,200/トロイオンスから\$1,450/トロイオンスの場合にはスポット価格のとおりとなります。またスポット価格が\$1,450/トロイオンス以上の場合には\$1,450/トロイオンスとなり、ポゴ金鉱山生産金の収益は一定の幅の中で確保されることとなります。

本取引の実施により、当社はポゴ金鉱山で2019年1月から2019年12月の間に生産する金について将来の金価格が\$1,450/トロイオンスを超えて高騰した場合は、生産数量中の当社権益持分の4分の1につき\$1,450/トロイオンスを超える価格上昇メリットを享受できないリスクがありますが、逆にその間金価格が\$1,200/トロイオンスを下回った場合は、生産予定数量中の権益持分の4分の1につき\$1,200/トロイオンスの販売価格を確保できることになり、当社の業績安定に資するものと考えております。

<ご参考>

ポゴ鉱山の金のヘッジポジション実績について

期間	数量 (toz)	レンジ
2009年2月～2014年12月	244,880	US\$750～1,850/toz
2009年9月～2014年12月	233,390	US\$750～1,700/toz
2009年9月～2014年12月	364,740	US\$750～1,700/toz
2015年1月～2015年12月	169,200	US\$1,000～1,870/toz
2016年1月～2016年12月	140,640	US\$1,000～1,366/toz
2017年1月～2017年12月	119,195	US\$1,100～1,410/toz
2018年1月～2018年12月	120,628	US\$1,100～1,430/toz
2019年1月～2019年12月	53,550	US\$1,200～1,450/toz

以上